

2009

インベスト イン カナダ 自動車産業



カナダにおける近年の投資例

- » **トヨタ**がオンタリオ州ウッドストックに自動車組立工場(11億ドル規模)を新設し、1,200人の雇用を創出。
- » **ホンダ**がオンタリオ州アリストンにエンジン製造工場(1億5,400万ドル規模)を新設。
- » **Ford**が2008年、7億3,000万ドルを投資し、エンジン工場の整備・更新を行うとともに、ウィンザーに最先端パワートレイン研究開発センターを設立すると発表。
- » **高木製作所**が2007年、オンタリオ州にスタンピング工場を新設し、100人近くの雇用を創出。
- » **デンソー**が2007年、6,400万ドルを投資し、グェルフの自社自動車部品工場を拡張。
- » **トヨタ紡織**が8,700万ドルを投資し、オンタリオ州に新たなシート・内装品工場を開設
- » **アイシン精機**がオンタリオ州に2つ目となる自動車部品工場を開設し、さらに100人の雇用を創出。
- » **日野自動車**がウッドストックにディーゼルトラック組立工場を開設し、45人の雇用を創出。

自動車産業はカナダ最大の製造部門で、北米の自動車生産量の16.7% (台数にして260万台^{*1}) を占めている。国内で組み立てられた自動車の実に84%以上が輸出されており、カナダの自動車製品の輸出量は、日本と米国に次いで世界第3位である。2007年の総売上高は967億ドルで、そのうち輸出高が705億ドル^{*2}にも上った。

カナダの自動車産業では、およそ1,300社、15万3,000人が働いている。過去10年間で、カナダの自動車製造部門への投資が多かった国はドイツ、日本、米国の3カ国である。雇用と投資はオンタリオ州に集中しているが、ケベック州とブリティッシュ・コロンビア州も海外からの投資を引き付けてきた。

主な利点

研究開発 (R&D) : カナダで事業を展開する企業が2007年に自動車関連の研究開発に費やした資金は5億2,400万ドルに上る。自動車関連の革新的技術でカナダが特に得意とするのは金属加工、最先端材料、最先端設計、視覚化、製造や情報・通信技術などである。

カナダには、充実した研究開発体制が整ったクラスターがいくつかあり、自動車企業の研究開発に手厚い投資税額控除や資金援助が行われている。民間企業は独自に研究開発を行うだけでなく、国内の大学、カレッジや公的研究所と連携して、共同研究も進めている。そのような機関として、AUTO21 Network of Centres of Excellence、National Research Council、Natural Resources Canadaの金属・材料研究所などがあげられる。

自動車組立 : カナダには、北米第2位、第3位、第5位の生産性を誇る自動車組立工場がある。カナダの組立工場は、その優れた品質が世界的にも高い評価を受け、数々の賞に輝いてきた。

- » 1991年以来、J.D. Powerが品質面で優れた工場に贈るJ.D. Power北米工場品質賞の3分の1をカナダが獲得。
- » 過去7年間で5回、J.D. Powerの年次初期品質調査で、トヨタとGeneral Motors(GM)のカナダ工場が西半球で最高の評価を獲得。

カナダに投資する世界的な大企業

CAMI Automotive Inc. (GM-Suzuki)
 Chrysler Canada Inc.
 Continental AG (formerly Siemens VDO)
 Denso Corporation
 Ford Motor Company of Canada Ltd.
 General Motors of Canada Ltd.
 Honda Canada Inc.
 Johnson Controls Inc.
 Linamar Corporation
 Magna International Inc.
 Martinrea International Inc.
 PACCAR of Canada Ltd.
 Toyota Canada Inc.
 TRW Inc.



カナダは世界第3位の
 自動車製品輸出国で、
 2007年の輸出高が
 705億ドルに上る。

オンタリオ州

自動車組立メーカーと部品メーカーによる投資が多いオンタリオ州は、自動車と構成部品の研究、設計、開発および製造で世界トップクラスに位置づけられている。実際、同州では2006年、自動車部品製造業の出荷額がカナダ全体の94.6%にあたる261億4,000万ドル*にも上った。また、2006年には北米にある84カ所の組立工場の中でオンタリオ州にある2工場が品質面において北米で第1位と第2位にランクされ、2007年にも1工場が第2位を獲得した。

自動車製造業の年間設備投資額は、ウィンザー、オシャワ、ウォータールー地方、ロンドン、トロントなどの代表的なクラスターで、過去10年間の平均が35億ドルである。大手企業はChrysler、Ford、General Motors、ホンダ、トヨタ、デンソー、Linamar、Magna、Michelinなど、枚挙に暇がない。ちなみに、日本以外でレクサスを生産しているトヨタの工場は、オンタリオ州ケンブリッジ工場だけである。

オンタリオ州の労働力は、J.D. Powerの初期品質調査とHarbour Reportの生産性調査の受賞の常連で、品質とコストの面で、世界のトップと比べても引けを取らない。オンタリオ州では、他のどのG7諸国よりも、高度な資格を持つエンジニアの比率が高く、自動車産業の高度熟練労働者およそ13万5,000人のうち、43%が高等教育を受けている。また、1つの職場での熟練労働者の平均勤続年数は9年である。

オンタリオ州全体で、世界有数の企業が150校を超える大学、カレッジ、公的研究所と連携して、研究施設で生まれた新たな発見やプロセスを市場に送り出す期間の短縮化に取り組んでいる。企業と科学者を結びつけて、画期的な研究成果の商業化を手助けしているのが、カナダのNetworks of Centres of Excellence最大のAUTO21と、Ontario Centres of Excellenceのネットワークの一部であるCentre for Materials and Manufacturingである。





ケベック州

250社を超える企業で、およそ1万5,000人が働くケベック州の自動車部門では、OEM（相手先ブランドで販売される製品の製造）市場と、交換部品ならびにアクセサリで構成される二次市場の2つのセグメントが主流をなしている。

グレーター・モンリオールには、Rio Tinto Alcan、Mecachrome、Raufoss Automobile Components Canadaなど世界的に有名な企業がある。Industrial Materials Institute (IMI)、École Polytechnique のCenter for Applied Research on Polymers (CREPEC)やコンコルディア大学のCenter for Compositesなど大規模で、最先端の研究施設が整ったモンリオールならではの軽金属の高度な専門技術が、ライバルに差をつける大きな強みであることは言うまでもない。

手法の説明

ここでは、カナダの様々なクラスターの競争力を、外国のクラスターと比べることで、ベンチマーク評価を行う。投資家の視点を基本として、代表的な投資のモデルプロジェクト(自動車構成部品製造業者と組立業者—5ページのプロフィールを参照)を使って、調査、分析を行い、対外投資の候補地を評価する際に、企業の意思決定者が通常精査する投資先の要件を評価する。

今回の国際的な投資候補地のベンチマークは、世界的に有名な投資先調査コンサルティング会社 IBM-Plant Location International (IBM-PLI) に委託して実施した。IBM-PLI が行ったのは、企業の投資プロジェクトで候補を審査する時に、投資家が用いるアプローチで、様々な場所での事業運営のコストと質を比較・評価する調査。サブセクター別に、250から300項目の財務的、質的な投資先指標を検討した。

各対象地の事業運営環境の質を評価するために、5ページの運営環境表にある各カテゴリーのサブ要素別に、多彩な情報源からデータを集め、重要度付けスコアボード・アプローチで、カテゴリー別、サブ要素別に比較可能なスコア(0から10まで)に換算している。投資先の各カテゴリーと各サブ要素をウエイト付けし、場所の選定プロセスでの相対的な重要度を示した。この重要度は、各サブセクター固有の値で、場所の選定で戦略的決定を下す投資家の手助けをしてきたIBM-PLI の経験に基づいたもの。

高度な財務分析も、代表的なプロジェクト・プロフィール別に、場所に左右される主な投資コスト、運営コスト、収入を対象項目として実施した。10年間の予測キャッシュフローを、予想インフレ率を加味して算出し、その正味現在価値を求めるとともに、ベンチマークの対象地別に、プロジェクトの収益性を評価した。



世界の様々な場所で
事業を運営した場合のコストと
質の比較をベンチマークする



投資先のベンチマーク

代表的なプロジェクトのプロフィール



事業の概要

自動車部品の製造および組立

プロジェクト推進のための 主要なポイント

- » 熟練した人材を確保できるか
- » ハイウェイ網が整備されているか
- » 市場へのアクセスがあるか

営業費の分析

プロジェクトの財務モデルの要件

労務

(総員数=700人)
現場作業員：422人
一般業務のスペシャリスト：
70人
エンジニア：160人
一般管理部門：48人

プロパティ

土地：
25エーカー
(約30,610坪)
建物：
220,000平方フィート
(約6,183坪)

売上

100,000,000カナダドル

機械設備

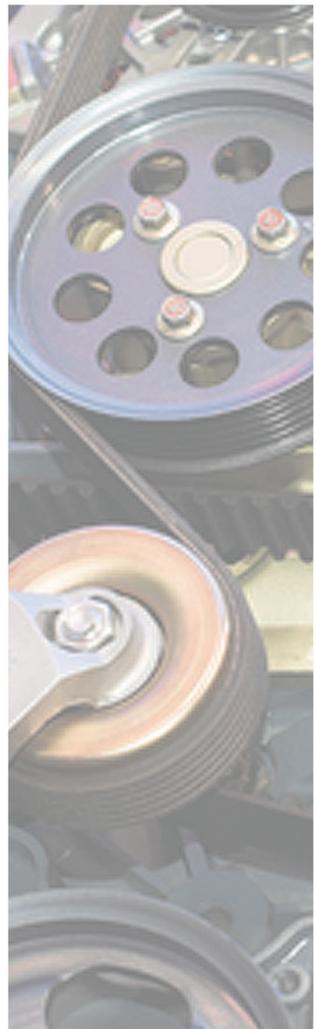
50,000,000カナダドル

水道光熱

電気(1カ月の使用量)：
1,500,000 kwh
ガス(1カ月の使用量)：
1,800 MCF
(約50.97百万立方メートル)

事業運営環境

一般的なビジネス環境 » 10% ^{※1}	» 地方自治体・地元開発局による支援の質 » 営業許可の手続き » 資金援助・奨励策の有無 » 個人情報保護に関する法令、 情報セキュリティ、知的財産権の保護策の順守状況 » 経済的・財政的安定性 » 政治的安定性
地元で熟練スタッフを 採用できる可能性 » 25% ^{※1}	» 製造関連を含め、自動車産業の経験を持つ従業員の存在 » 労働市場全体の逼迫状況(失業者数) » 労働力プール全体の規模 » 学生の多さ
産業力/クラスターの存在 » 20% ^{※1}	» 産業基盤の存在 » 市場への近接性
労働と規制の弾力性 » 10% ^{※1}	» 労働時間に関する法規 » 雇用と解雇の自由度 » 労使関係/労働組合の姿勢 » 就労許可
インフラと通信 » 20% ^{※1}	» ハイウェイ網と渋滞状況 » 電力供給の安定性 » ITと通信の質と安定性 » 水路・運河と港 » 公共交通機関 » 空路のアクセス
不動産 » 10% ^{※1}	» 大規模な工業用地の有無
生活環境 » 5% ^{※1}	» 生活費 » 海外の新卒者を誘致できる魅力 » 海外赴任者にとっての魅力

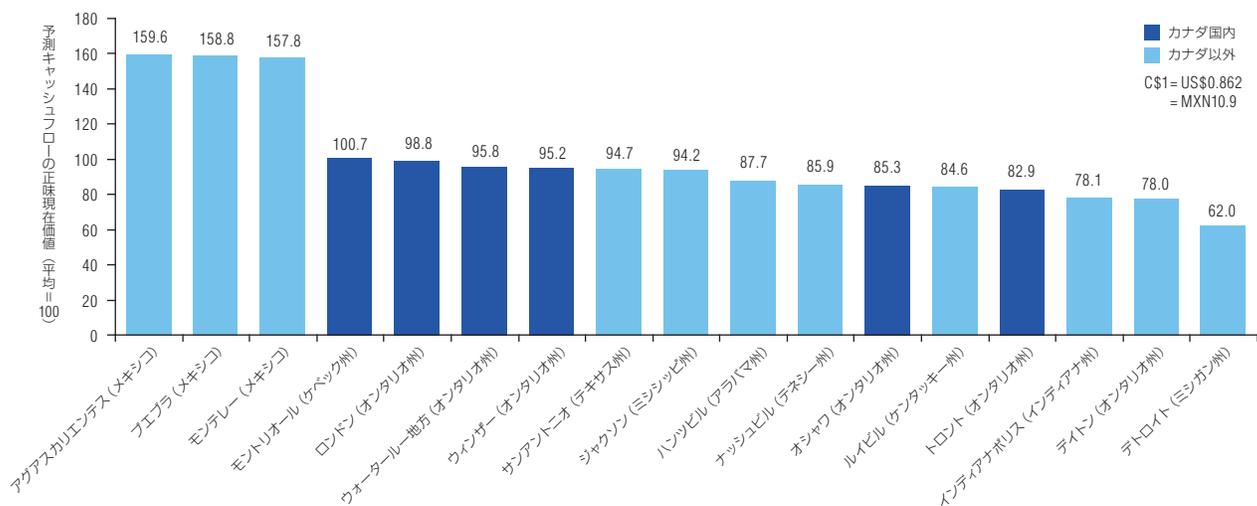




カナダのバリュー・プロポジション

カナダは、オンタリオ州南部とケベック州モントリオールに中核的なクラスターを擁する世界有数の自動車生産国である。財務面での魅力と、質の高い事業環境を兼ね揃えたカナダのクラスターは、他の北米やアジアの多くのライバル国を凌いでいる。

コスト評価※2

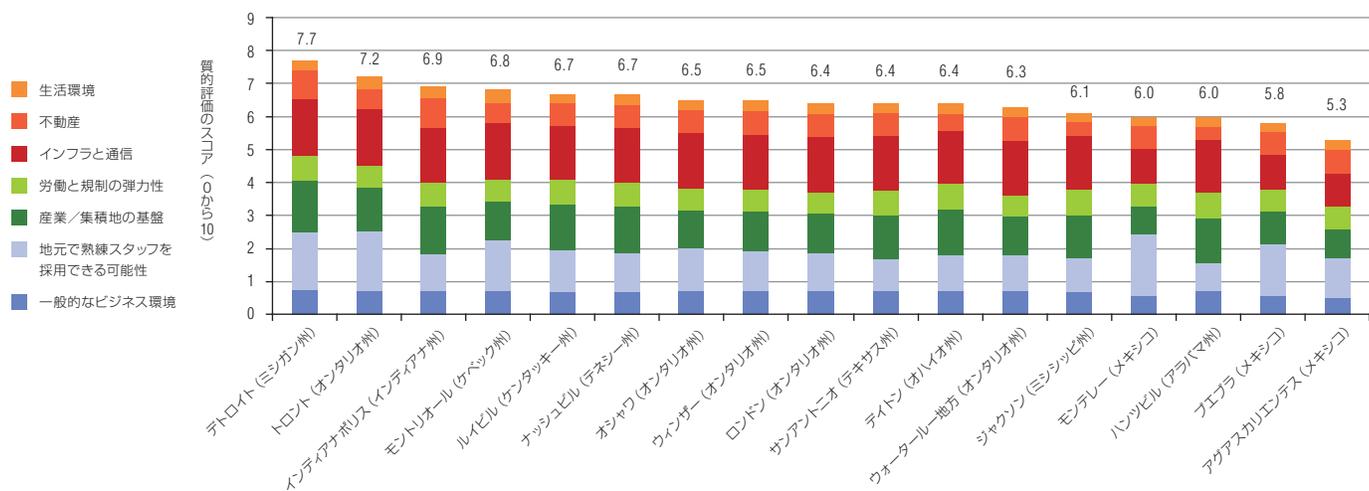


投資リターンが大きい

モントリオール、ロンドン、ウォータールー地方、ウィンザーは、米国のどの対象地よりも収益性が高く、北米で高いコスト競争力を誇っている。これに、質の面で優れた事業環境が加わったカナダの自動車クラスターには、投資を行い、成功と成長を手にする場として、世界最高レベ

ルの競争力があると言えるだろう。メキシコのアグアスカリエンテス、フエブラ、モンテレーなど一部の対象地は、コスト競争力の面で勝るかもしれないが、質的評価のスコアも考慮に入れなければならない。

事業環境の質的評価※2



経験豊富で確かな実力を備えたクラスター

北米では、カナダの5都市が質的評価のトップ10に入り、自動車製造業でのカナダの定評が改めて裏付けられた形になっている。オンタリオ州の製造・自動車産業で働く経験豊かな従業員の存在があったからこそ、

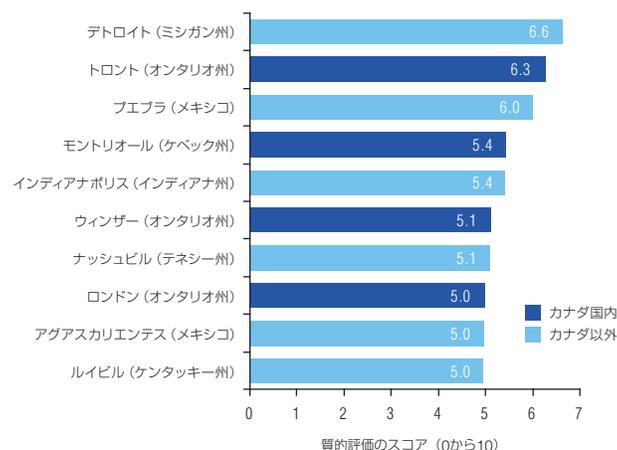
トロント、オシャワ、ウィンザー、ロンドンは質的評価で高い総合スコアを得ることができた。モントリオールもまた、高い技能を持つ人材の宝庫である。

※2：特に注記がなければ、グラフはIBM-PLIの評価スコア。



産業基盤の存在

(上位都市)*



産業基盤の強さ

この部門の投資先比較では、産業基盤の強さが大きな決め手となるため、自動車、自動車部品、自動車車体およびトレーラーの製造業の数と、最近の輸送機器製造業への投資件数を評価した。

現在、自動車関連機械・装置を製造する企業の数が多いことから、カナダの都市は北米の中で上位にランクされている。カナダ統計局の2005年のデータによると、トロントとモントリオールには、自動車部品製造に携わる企業が、それぞれ326社および147社もある。

人材プールの層の厚さ

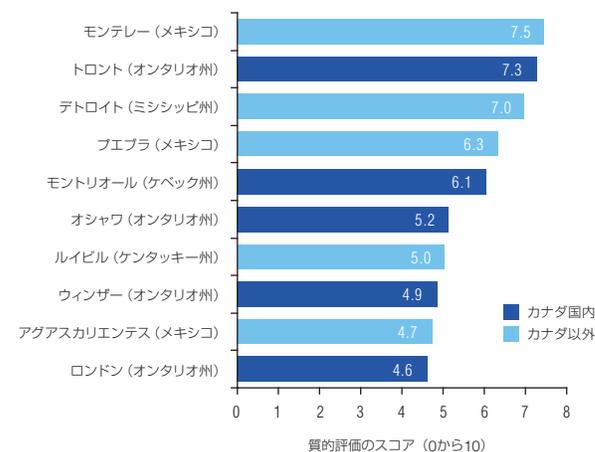
カナダの自動車産業の中心地は、自動車製造関連事業の総雇用者数で、米国とメキシコの多くの地域を上回り、これが、全体の順位に大きな影響を及ぼしている。自動車製造分野で豊かな経験を持つ人材が豊富なため、新設の製造工場は労働力を充実させ、早期の操業開始を実現することができる。

地元で人材を確保できるかどうかは、最も大きな決め手だが、それは労働力の規模、質、そして特徴によって変わってくる。労働力のプール全体の規模、製造業労働者プールの規模、自動車製造関連の経験がある従業員の数、学生の総数と労働市場の逼迫状況など、これらすべてが人材プールの評価に影響してくるのである。

モントリオール市とオンタリオ州南部は全体的に、投資を行った場合に採用できる自動車産業の経験がある労働者の宝庫である。自動車部品製造業で働く人の数は、トロントが3万人強、ウィンザーが1万人を超える。

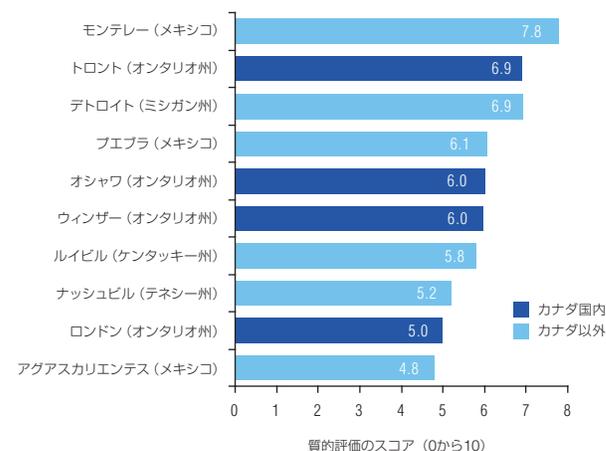
地元でスタッフを採用できる可能性

(上位都市)*



自動車産業での経験がある従業員

(上位都市)*



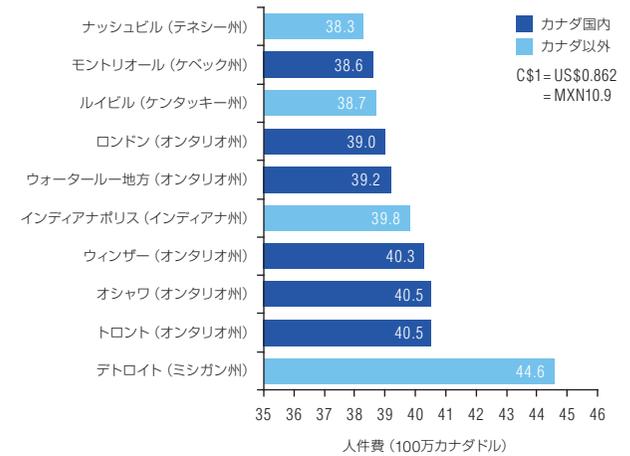
競争力のある労働コスト

典型的な自動車構成部品製造業の年間労働コスト（推定）の算出結果から、米国の多くの対象地と比べて、カナダはコストが低いことがわかる。

その最大の要因は、従業員の福利厚生費の低さである。カナダでは、医療保険制度のほとんどが、経営者の負担ではなく、公的資金でまかなわれているため、経営者は大幅なコストの節減を図ることができる。

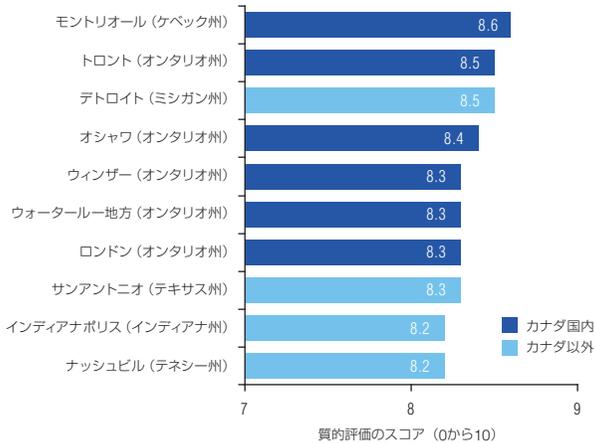
推定年間人件費

（一部都市）*



インフラと通信

（上位都市）*



世界トップクラスのインフラ

市場へのアクセスとハイウェイ網の充実、投資先の選択で鍵を握る決め手である。今回の評価では、ハイウェイおよび道路へのアクセス、道路の渋滞状況、空港と港へのアクセス、公共交通機関の整備状況、電力と通信の信頼性を対象項目とした。

カナダのビジネスの中心地は、充実したインフラおよび通信網および、空路と航路による交通の便の良さから、北米の地域の中で上位にランクされている。カナダの広範な鉄道網と渋滞の心配のない道路は、米国との統合が進んでいるため、北米大陸のどの地域にも効率的に貨物を運搬することができる。

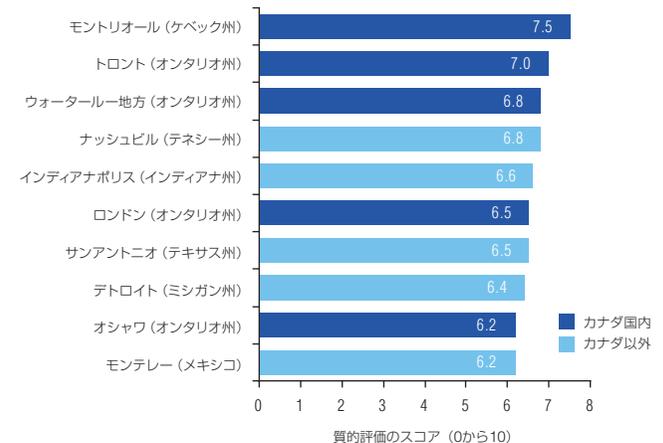
際立つクオリティ・オブ・ライフ

生活環境での高い評価は、世界各地の優れた人材を巡る争奪戦で重要なポイントとなるだけでなく、投資先の選択でもさらなる大きな強みとなる。生活費と住民が感じる生活の質—海外の人材と海外赴任者にとってその国の魅力となる—は、Mercerの生活費調査、犯罪率の統計、教育指数などの国際的な尺度を使って評価した。

カナダの地域は生活の質で上位に入り、特に大都市のモントリオールとトロントはトップだった。また、ウォータールー、ロンドン、オシャワなどの都市は、生活の質の高さと、生活費の低さを兼ね備えている。

生活環境

（上位都市）*



カナダ投資局が お役に立ちます

当局が提供するサービスの一覧：

- 各部門の市場に関する戦略的情報収集
- 政府の主要な意思決定者との直接的なコンタクト
- 民間部門・業界団体の連絡窓口および専門家の紹介
- カナダでの事業立ち上げに関する情報とアドバイス
- 投資に適した戦略的投資先を見極めるお手伝い
- 次の投資決定に役立つビジネスケース作りのお手伝い

事業を成長させるうえで、カナダを選ぶことがなぜ戦略的に有利なのかは、
当局のグローバル・ネットワークをご覧ください。

www.investincanada.com/globalnetwork

お問い合わせの際は下記までご連絡下さい。

在日カナダ大使館 投資・科学技術部

〒107-8503 東京都港区赤坂 7-3-38

電話：03-5412-6419

03-5412-6480

ファックス：03-5412-6254

Email: tokyo.its@international.gc.ca

URL: www.investincanada.gc.ca

www.japan.gc.ca

カタログ番号：FR5-38/2-2009J-PDF

ISBN：978-0-662-03241-0

